

敗北逆アナル【END2】勇者様は敗北しました。

清楚清廉だった彼女はふたなりサキユバスに墮ちて…

シーン3

「おひさしぶりです勇者様……まあ♡ 3日ほど祝福を与えなかっただけで目に光が戻っていますね」

「毎日祝福してあげたときはあんなに可愛かったのに♡ ……でも、大丈夫ですよ」

「ちよつと、思いついたことがあったのでお出かけをしたのですが……また、毎日おチンポ様の祝福を与えてあげますね♡」

「……ええ、お出かけですよ。魔王様をお願いして……覚えていますか？」

「旅立ちの日に初めて訪れた村。ええ、ええ♡ あのオークさんに襲われていた女の子を助けた村です」

「ふふふ、焦らないでください。まずはこちらのスライムさんを紹介させていただきます♡」

「懐かしいですね。あの村の周辺でよく狩っていたスライムさんですよ」

「今日は、勇者様に魔物様への奉仕をお勉強していただくかと思いましたが」

「……ん？ ああ♡ 大丈夫ですよ♡ ご心配には及びません。スライムさんもおチンポ様の祝福を与えておきましたから」

「人間の美味しい食べ方を理解してもらっているはずですよ。どんな食べ方か、もちろん勇者様も分かっていますよね♡」

「……ほら♡ もうちっさいおちんぽ、おっ立てて期待しちゃってますね♡」

「さあ、勇者様も美味しく食べられる準備、しましょ♡」

「ああ♡ 素直でいいですね♡ 抵抗が無駄なこと、頭でも体でも分かっているみたいで嬉しいですよ」

「ふふふ♡ 今から、勇者様のケツまんこに、このスライムさんを入れて行きますからね♡」

「きつと、今まで経験したことがないと思いますよ、気に入ってくださいると思いますよ♡」

「……んん♡ ああ、イイですね♡ どんどん、スライムさんが飲み込まれていきます」

「おチンポ様で押し広げる感覚と比べてどうですか？♡」

「冷たいジェル状の意思を持ったモノが♡ 勇者様のケツまんこを犯すために動き続けていますよ」

「すよ」

「ふふふ♡ いい反応していますね♡ じゃあ、私も……勇者様がもつと感じられるようにお手伝いしてあげますね♡」

「もつと、感じていいのですよ♡♡ 勇者様あ♡ ふふふ♡♡ 乳首、触る前からぽんぽんになっちゃっ

てたんですね♡」



「魔王様にお願いで、手勢の方々にご協力をいただきまして、空間転移で村まで行ってきたんです♡ 勇者様にご縁のある村だと思っただので、まずはその村の方々だけ、祝福してきてあげたんですよ♡ ふふふ♡」

「皆様、勇者様にまた会えて喜んでるみたいですね♡ 昔のこと、思い出しましたか？♡」

「ふふ♡ 勇者様もよかったですね♡ だって、これでオークさんたちも怖くなくなったでしょう？

♡ こんなに素敵なおチンポ様を持っているオークさんたちを前にしたら……♡ よだれダラダラでお股開いちゃいますから♡」

「ふふ♡ でもね？ 彼女、まだ童貞なんですよ♡ なので、勇者様のお尻の穴を使って練習しましょうね♡」

「まだ祝福を受けて日も浅いので性欲のことしか頭にないようですが、おチンポ様を入れたり入れられたりできれば問題ありません♡」

「むしろ欲望に従うだけなので、とっても素敵で幸せなことですよ♡ ふふふ♡♡」

「ほら、勇者様♡ 彼女が練習しやすいように、後ろを向いてお尻を突き出してください♡」

「ああ♡ イイですねえ♡ スライムさんにアナルをほじられてたおかげで、オーク娘さんのおチンポ様♡ 簡単に飲み込めちゃいましたね♡」

「ふふふ♡ やっぱり勇者様はご奉仕に向いてますよ♡ 初めてのケツまんこなので、オーク娘さんが止まらなくなってます♡」

「気持ちいいですか？♡ 気持ちいいですよね？♡ 顔もお耳も真っ赤にしながら、可愛い声でちゃってますよ♡♡」

「ケツまんこ♡ ズボズボされながら♡ 勇者様のよわよわチンポ♡ ガチガチに勃起しちゃってますもんね♡」

「ふふ♡ 勇者様はこのままでもすごく素敵ですが♡ ご奉仕のコツとしては♡ もっと声を出してあげる方がいいかもですね♡」

「皆様は勇者様のご奉仕されているところを見ています♡ たくさん興奮させてあげましょうよ♡ いっぱい喘いで♡ いっぱい感じて♡ もっともっとおチンポ様が元気になれるように♡ ご奉仕しちゃいましょ♡♡」

「ああ、そうそう♡ オーク娘さん♡ 先程、勇者様が出された精子♡ 少し舐めてみませんか？ とも興奮しますよ♡♡」

「……ああ♡ イイですねえ♡ ええ♡ ええ♡ とても喜んでくれているようですよ？ 勇者様♡」

「パンパン♡ 勇者様のケツまんこを突き上げるのも、どんどん上手くなっていきます♡」

「はあ、はあ、はあ、ん♡ ホント、素敵ですねえ♡ 勇者様♡ このまま、中出ししてもらえよう♡ 頑張ってみましょ♡♡」

「それに……ん♡ ふふふ♡ 私のおチンポ様も、勇者様にご奉仕されている姿を見て、元気になってます♡♡」

